

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	TAKUMI浦和		
○保護者評価実施期間	2024年 1月 1日		～ 2024年 12月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	46	(回答者数) 33
○従業者評価実施期間	2024年 1月 1日		～ 2024年 12月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもが楽しく通えている。	子どもの意見を取り入れた活動を行っている。	イベントの開催など、楽しい活動を今後も考えて増やしていく。
2	職員の意識や質が高い。	アセスメントシートを使って共通認識を高められている。 集団療育の中で、個別支援計画内容や今の子どもの課題を意識して行っている。 事前事後の情報共有を行っている。	各々が専門性を高め得意分野を伸ばす。 療育プログラムや対応の引き出しを共有していく。 より綿密な情報共有を行う。
3	非常時に対する訓練をきちんと行っている。	計画通りに毎回行っている。 その都度反省・改善もできている。 緊急地震速報のテスト音を流す、非常階段を実際に降りる等、実践的に行っている。	より実践的に行える機会を作っていく。 (避難場所まで行く等)

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	運動スペースが狭い。 事務所が狭い。個別対応の部屋が無い。 エアコンの効きが悪い。	運動を想定した建物ではない。	限られたスペースで出来る運動の考案。
2	保護者交流の場が少ない。	働いている保護者の方も多く時間が限られる。 人員不足で手が回らず、機会がなかなか作れない。	ミニ講座や保護者会の開催。 お便りの掲示・LINEでの配信。 人員を補充し保護者交流の機会を設ける。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 TAKUMI浦和

公表日 令和 7年 2月 21日

利用児童数 46

回収数 33

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21	12			・立地上仕方ないが走るには狭い。 ・活動内容によってはスペースが足りていない。 ・限りあるスペースの中で上手に活動を企画している。	建築基準法に基づき限られた空間の中で事故や怪我がないように配慮しながら行っております。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	31	2				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	33					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	32	1			・上履きを忘れた場合拭いた外履きで代用するが、不衛生なので予備の上履きを用意してもらいたい。	全ての靴のサイズを準備するのは難しいため、来所前に荷物の確認をしていただけますと幸いです。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	29	4				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	31	1		1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	31	1	1		・もう少し体幹を鍛えるようなカリキュラムを取り入れてもらいたい。	サーキットだけでなくルール遊びの中でも、体幹強化につながるような動きを取り入れています。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	28	4		1		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	29	3		1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	29	2		2		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	9		11	13	・今のところ交流したことはない。 ・TAKUMI内での活動しか知らない。	事業所の特性上なかなか実現が難しいですが、今後の課題とさせていただきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	31	1	1			
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	32	1				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	5	6	8	・情報提供は行われている。	保護者の方向けのミニ講座を開催する予定です。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	31	1	1		・いつも子どもに合ったフィードバックしてくれるので、どの先生もしっかり見てくれていると感じる。	今後も継続しつつ共通理解が深まるよう努めて参ります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	29	2	1	1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	31	2				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	3	13	11	・左記のような支援まではない。今後そのようなイベントはあるのか。	保護者の方向けのミニ講座を開催する中で、保護者同士の交流の場を設ける予定しています。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	26	4	1	1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	28	3	1			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	20	8		5	・浦和教室はインスタに載っていないように思う。	イベントの様子を中心に、月1回程度浦和教室の様子をアップしております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	30	1		1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	30	2				
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	31			1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	30	2			・安全の確保は考えてくださっていると思うが、安全を確保するための計画について周知をされているかは分からない。	エレベーターフロアにある青いファイル内に、安全計画が入っていますのでご覧くださいませと幸いです。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	26	1		5	・怪我をしたことはないが、おそらく速やかに対応してくれると思う。 ・まだ発生していないので分からないが、対策されているから発生していないのだと思う。	ご契約時にお渡しした重要事項説明書にも記載の通り、事故が発生した場合はご家族・さいたま市・支給決定を行った市区町村に連絡を行うとともに、必要な措置を講じさせていただきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	30	2			・初めてのことが苦手な子ですが、通い始めたときから行き渋ることなく通っていて、親も安心して送り出している。 ・出かける直前になって急に行きたくないときがあり、少し不安がある様子。	今後も継続しつつ安心して通える環境でいられるよう努めて参ります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	28	4			・毎週楽しみに通所しています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	31	1			・専門的な支援で初めて知ることもあり大変勉強になっている。 ・親子共々楽しく安心して通っている。	

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	TAKUMI浦和	公表日	令和 7年 2月 21日
------	----------	-----	--------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	4	・狭いが内容を工夫して行っている。 ・棚などをどけ、運動スペースを広くした。	・もう少し広いと尚よいと思う。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	4		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもの活動に合わせた空間となっているか。	4	3		・少し狭い。気持ちを落ち着ける子の避難場所も欲しい。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1		・個別の部屋が少ない。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	1		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	4		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	3	・現場で各々何とかしようとしている。	・機会が少ない。 ・業務時間内で行わなければならない為、受けられる研修に限られる。
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	3		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	・日報を用いて前回のこどもの様子が分かるようにしている。	・必要に応じて当日に役割分担を明確にする。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	1		・機会が少ない。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1		・一部しか出来ていない。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1	・相談支援事業所とは行っている。	・一部しか出来ていない。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	2	・希望者に対して支援シートの作成を行っている。	・一部しか出来ていない。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	4		・保護者からの要望がそもそもない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1	・子育てサポートを行っている。 ・ミニ講座の開催。	・ペアレントトレーニングは行っていない。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7				
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7				

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	5	・複数の保護者の相談の場を設ける予定。 ・ミニ講座の開催。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	TAKUMI浦和		
○保護者評価実施期間	2024年 1月 1日		～ 2024年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数) 29
○従業者評価実施期間	2024年 1月 1日		～ 2024年 12月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども・保護者の満足度が高い。	できる範囲ではあるが、子どもたちのやりたいことができるようにしている。 運動中の様子をよく観察し、フィードバックを行っている。	子どもの希望通りできない場合に、代案が出せるようレパートリーを増やす。 職員同士の情報交換をより細かく行う。
2	非常時に対する訓練をきちんと行っている。	計画通りに毎回行っている。 その都度反省・改善もできている。 緊急地震速報のテスト音を流す、非常階段を実際に降りる等、実践的に行っている。	より実践的に行える機会を作っていく。 (避難場所まで行く等)
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	運動スペースが狭い。 事務所が狭い。個別対応の部屋が無い。 エアコンの効きが悪い。	運動を想定した建物ではない。	限られたスペースで出来る運動の考案。
2	保護者交流の場が少ない。	働いている保護者の方も多く時間が限られる。 人員不足で手が回らず、機会がなかなか作れない。	ミニ講座や保護者会の開催。 お便りの掲示・LINEでの配信。 人員を補充し保護者交流の機会を設ける。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 TAKUMI浦和

公表日 令和 7年 2月 21日

利用児童数 35

回収数 29

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21	9			・もっと広いに越したことはないが、柵を移動させたり等対応してくださっていると感じる。 ・もう少し広さがあってほしい。	建築基準法に基づいた空間で怪我や事故がないよう配慮し行っております。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	30					
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	29			1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	28	1				
適切な支援の提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	27	3			・活動の報告をお伺いすると、先生によって少し差があると思う。 ・丁寧なアプローチで良い経験を積み上げているが、体力テスト等の結果を見てもう少し結果を伴うアプローチを期待してしまう。	スタッフ同士でお子様について常に共有を行い、特性に応じた支援が行えるよう努めています。適宜研修も行ってまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	29	1				
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	30				・職員の皆さんで共有・検討してくださっていることがありがたい。	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	29					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	29	1				
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	26	3		1		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	6	2	18	4	・必要としていないのでそのままが良い。 ・活動時間からすると、機会を設けるのは難しいと思う。	当面はそのような機会は検討しておりませんが、必要に応じて対応して参ります。
保護者へ	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	30					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	29					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	16	4	5	5	・そういった活動があるか不明。	保護者の方向けのミニ講座を開催する予定です。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	30					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	30					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	29					

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	4	18	6	・そういった活動があるか不明。	保護者の方向けのミニ講座を開催する中で、保護者同士の交流の場を設ける予定でいます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	27	2				
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	29					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	24	5	1			
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	27	1		2		
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	28			2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	30					
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	29			1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	26	1		3	・事故が発生したことがないため分からない。	ご契約時にお渡しした重要事項説明書にも記載の通り、事故が発生した場合はご家族・さいたま市・支給決定を行った市区町村に連絡を行うとともに、必要な措置を講じさせていただきます。
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	30					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	24	5	1			
	29	事業所の支援に満足していますか。	28	2			・不器用な子へのアプローチに対するさらなる専門性を期待したい。	今後とも満足していただけるよう邁進して参ります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	TAKUMI浦和					公表日	令和 7年 2月 21日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	4	・内容を工夫して取り組んでいる。	・放デイの高学年・中学生には狭い。 ・もう少し広いと良いと思う。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	3			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	3		・運動をするのには狭い。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1		・個別の部屋が少ない。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	4		・第三者評価は現在行っていないが、今後検討していく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	3		・勤務時間内にしか受けられないので、受けられるものが限られる。	
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	3	・お互いの内容を見てはいる。	・個人に委ねる事が多い（イベント等はチームで考えている）	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	・日報を用いて前の子どもの様子が分かるようにしている。	・必要に応じて当日に役割分担を明確にする。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	1		・地域交流の機会の提供をしていない。(そもそも保護者からの希望なし)
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	1		・機会が少ない。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1		・一部しか出来ていない。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	2		・一部しか出来ていない。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	2		・一部しか出来ていない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	3		・該当者なし。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	6		・保護者からの希望がない。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	3	4		・参加する機会がない。
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7				
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1	・子育てサポートを行っている。 ・ミニ講座の開催。	・ペアレントトレーニングは行っていない。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7				
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7				
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7				

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	5	・複数の保護者の相談の場を設ける予定。 ・ミニ講座の開催。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7				